

浜田林業部トピックス(3月号)



TOPICS 1

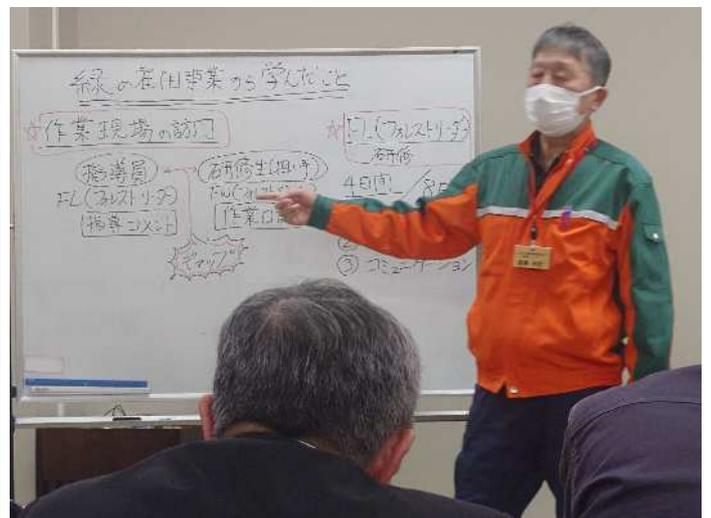
若手林業就業者の定着強化に向けた研修会が開催されました！

3月11日（火）に、若手林業就業者の定着強化に向けた研修会が開催されました。本研修会は、林業事業体の経営者や現場指導者の方を対象に、若手の育成方法について学んでもらうことを目的として、江の川下流域林業活性化センターが開催しました。

当日は、島根県林業労働力確保支援センターの高橋伴武氏に「若い担い手とのコミュニケーションのあり方について考える」というテーマで、若手との良好な人間関係の構築や成長を促す育成方法等について講演いただきました。

参加者からは「コミュニケーションやコーチング指導の大事さが理解できた」、「若手と価値観のギャップを埋めていきたい」といった前向きな感想がありました。一方、「相手を理解しようとして距離を詰めるとハラスメントと思われぬか心配」、「若手の顔色ばかり窺う指導者にならないか」などの感想もあり、若手との付き合い方に難しさを感じている方も多いことが窺え、今回の研修会は若手の指導に関して改めて考える良い機会になったと思われました。

林業就業者の確保、定着強化は、林業事業体共通の課題です。今後も関係機関と連携し、課題解決に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



講演会の様子

3月18日（火）に、浜田商業高等学校1年生64名が林業学習を行いました。島根県では高校生に林業や農林大学校への興味・関心を持ってもらうため、林業学習の場を設けています。

当日は、島根県の森林・林業に関する講義や森林組合の仕事について説明を受けた後、VRチェンソーで木の伐倒の疑似体験やドローンの操作体験をしたり、林業ボードゲーム「FOREST BALANCE GAME」を使って森林経営について学びました。高校生からは「体験活動・ゲームどれも楽しかった。」「林業のことを全く知らなかったが、体験活動を通して仕事のイメージが出来た。」「林業は男性の仕事だと思っていたが、女性もいることを知れて良かった」といった感想があり、楽しみながら森林・林業について学ぶことが出来ました。

今後も林業学習を継続して行い、県内の高校生が森林や木材に親しむ機会を作ることで、林業への関心が深まり、ひいては将来の職業選択において、林業が選択肢の一つとなることを期待しています。



石央森林組合の仕事紹介



森林調査用ドローン操作体験



VRチェンソー体験

チェンソーを持ってポーズ！
※エンジンはかけていません